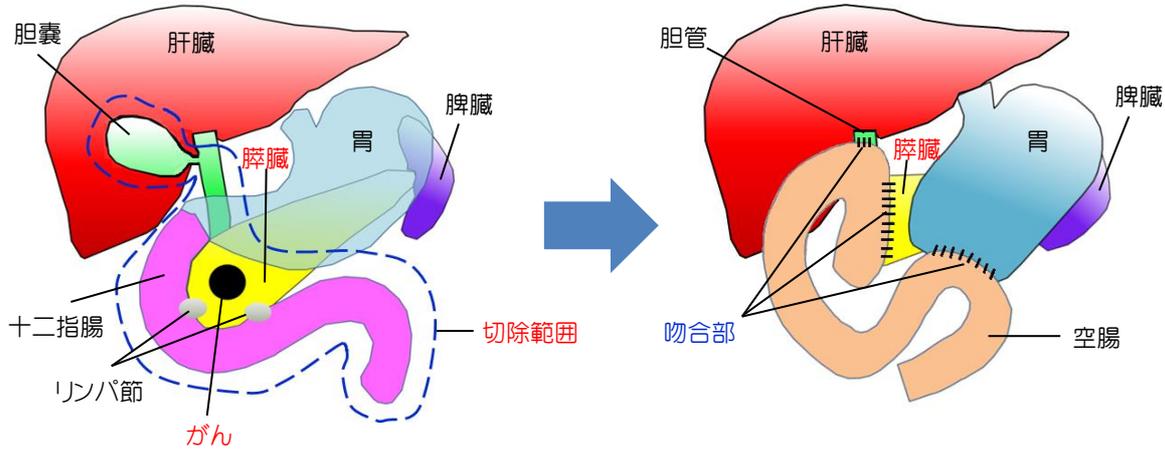


👉 膵臓がんの治療について

膵臓がんの手術は、腫瘍のできた場所によって手術の方法が異なります。膵頭部のがんでは膵頭十二指腸切除術、膵体尾部のがんでは膵体尾部切除術を行います。

■膵頭十二指腸切除術の実際■

膵頭部、十二指腸（胃）、胆嚢、胆管、膵頭部周囲のリンパ節を摘出する手術です。がんが血管に浸潤している場合には、血管を合併切除します。切除後には、膵臓と空腸、胆管と空腸、胃（十二指腸）と空腸を吻合して膵液、胆汁、食事の通る経路を再建します。



膵臓と空腸を吻合

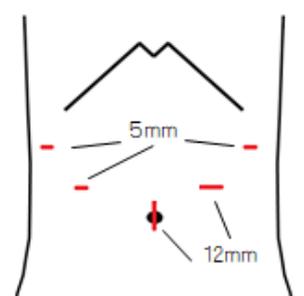
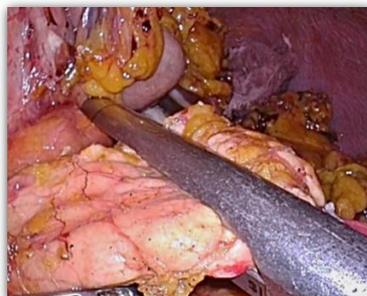
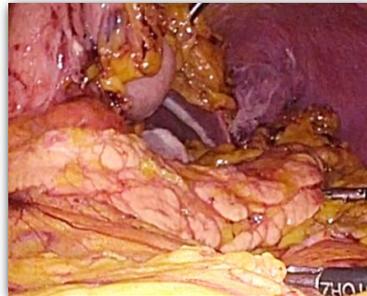
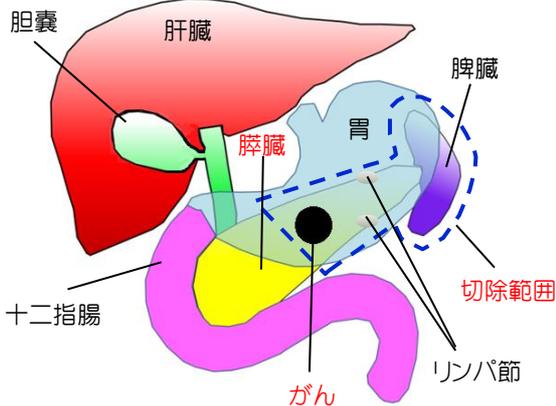


吻合後（再建）

■膵体尾部切除術の実際■

膵体尾部と脾臓、膵周囲のリンパ節を摘出する手術です。門脈、腹腔動脈、副腎などにがんの浸潤を認める場合には、これらの臓器・血管を合併切除します。また症例によっては腹腔鏡下膵体尾部切除術を行う場合もあります。術後の傷は小さく美容面で優れており、また術後の痛みも軽減されます。

腹腔鏡下膵体尾部切除術



術後創部図